

豊橋ハートセンター入院記

不整脈—ペースメーカー

カー植え込み手術

日入院と24時間点滴 ことを体感させられた。
12日にペースメーカー

植え込み手術実施 小澤医師をはじめの概要を説明された。
「チーム・豊橋ハートセンター」

3月12日、経口エコー検査を経て、午後4時からペースメーカー植え込み手術を開始、2本のリードを心房、心室に通す3時間半の手術を無事終えた。

今時、ペースメーカー植え込み手術など手術のうちに入らないと見てたかをくくっていたが、術中、合併症の誘発などの説明を受け、こと心臓疾患に関する限り、常に死と隣り合わせの危険なものである

3月7日、豊橋ハートセンター循環器内科・小澤友哉医師は諸検査の結果、即

不整脈の心電図異常、精密検査を要すの診断を放置してきた結果が、座っていて本果が、座っていて本果が読めない状態、駅までの1.5キロの道のりを途中で休まねば歩ききれなくなり、かかりつけのH医院を訪れると、血圧186/102の高血

3月7日、豊橋ハートセンター循環器内科・小澤友哉医師は諸検査の結果、即

予後の注意を受けて3月17日、10日ぶりに退院、家路をたどる参州の野に春の気は満ちていた。

不整脈の心電図異常、精密検査を要すの診断を放置してきた結果が、座っていて本果が読めない状態、駅までの1.5キロの道のりを途中で休まねば歩ききれなくなり、かかりつけのH医院を訪れると、血圧186/102の高血

3月7日、豊橋ハートセンター循環器内科・小澤友哉医師は諸検査の結果、即

予後の注意を受けて3月17日、10日ぶりに退院、家路をたどる参州の野に春の気は満ちていた。

予後の注意を受けて3月17日、10日ぶりに退院、家路をたどる参州の野に春の気は満ちていた。

寄稿

顧みれば、浜松で月刊総合雑誌「東海展望」、「週刊静岡」発行に携わって13年、豊橋の東海日日新聞(現・東日新聞)に移って40年、無遅刻、無欠勤で過ごしてきた身に2月下旬、体の不調が襲った。年1度の会社の定期健診で心房細動、

86/102の高血圧が判明、併せて10余年前にここで心房細動、不整脈が初見され、心臓エコー検査の結果、即

予後の注意を受けて3月17日、10日ぶりに退院、家路をたどる参州の野に春の気は満ちていた。

(編集部・村上政直)